

## まえがき

～ スカーフを楽しむ毎日の暮らし ～

ちょうど35歳になったころ、まだ小さかった2人の子どもの子育てをしながら正社員の仕事を両立させることに限界を感じ始めていました。その中で、子どもの成長やライフスタイルに合わせた働き方がしたいと思うようになりました。しかし、私自身に特別な能力があるわけでもなく、何がしたいのかもわからず、これからの働き方について模索する日々が続いていました。

そのころに受講した講座のひとつにスカーフアレンジを学べる講座がありました。講座では1枚のスカーフのできるアレンジの数々に魅了され、まるで手品のようにみるとスカーフのアレンジが変わっていく様子に、感動しました。また、昔からの知恵が凝縮され、時代が変わってもずっと変わることなく使い続けることができる、生活に役に立つアイテムだと感じ、暮らしに取り入れてみようと思い、そこから私のスカーフを楽しむ暮らしがスタートしていきました。そして、ずっと受け継がれてほしい知識であり、素晴らしい技術だと思い講師としてその内容を伝えていくお仕事を同時に始めることを決めました。

1枚の布から繰り出されるアレンジの世界は、折り紙遊びを想像していただくとわかりやすいかもしれません。折り紙は1枚の

正方形の紙から、折り方が変われば動物やお花、風船や箱にまで変化します。

スカーフも折り方や結び方・巻き方を変えると仕上がりの形、さらには見える柄までも変わります。結んだ後に素敵な柄が表に出るようにデザインされているスカーフも多く、どの柄や色を表に出すのか考えるのも楽しみのひとつです。

私がスカーフと出会ってから、少しずつ暮らしに変化ができました。たとえばシンプルなワンピースにシルク素材のスカーフを巻けば上品なイメージに、綿や麻のスカーフを巻けばカジュアルに着こなすことができます。スカーフはたためば小さくなりますのでクローゼットでも場所をとりません。スカーフやアクセサリ、バッグや帽子など季節の小物を生かして印象を変える着回しになったことで、洋服の数は減り、シンプルで整ったクローゼットになりました。洋服が減り組み合わせる選択肢が狭まったことで、毎日の服選びがぐっと楽になりました。

スカーフは、正方形や長方形の形をした1枚の布のことです。コーディネートに彩りを添えてくれるファッションアイテムのひとつです。

「スカーフ」と「ストール」はどう違うの？ という質問をいただくことがよくあります。

身に着けることを目的とした1枚の布のことを「スカーフ」と呼びます。その中でも長方形の形をした細長いスカーフのことを

「ストール」と呼びます。

この本では、正方形のスカーフから長方形のスカーフ（ストール）まで、毎日の暮らしの中での楽しみ方をお伝えしていきます。

スカーフをそのときの気候や気温に合わせて選べば、コーディネートに季節感をさりげなく取り入れることができ、一年を通していつでも使えるとても便利な布です。スカーフがあれば、首に巻いたり、カーディガンのように羽織ったり、膝にかけたりできます。また、1日の中でも巻きなおすことができますので、1枚持っておくと重宝します。

春は、見た目も軽やかな薄手の生地を選び、いつもより少しだけ鮮やかな色をスカーフに取り入れて、体も心も晴れやかにウキウキした気分でお出掛け。

夏は、通気性のよい綿や麻の生地のスカーフを身に着けたり、お気に入りの大判ハンカチやバンダナを首元に巻いたりしておしゃれに日焼け対策もできます。

秋は、優しく包み込まれるようなぬくもりを感じる暖かな素材、こっくりとした心あたたまる色のスカーフを身に着けて、秋の色を感じながら過ごします。

冬は、大判のスカーフでしっかり防寒対策。外はとても寒いですが、暖房の入る室内では、首元から外してひざ掛けに早変わり。

大切な人からの贈り物のスカーフ、お母様から受け継いだスカーフ、ひとめぼれしたお気に入りのスカーフ、旅先で出会った思い出のスカーフなど、使い方がわからず眠っているスカーフがありませんか？ それらの大切なスカーフをぜひ、使っていただきたいです。

昔から愛用しているスカーフをずっと丁寧にお手入れしながら長く使う楽しみ方、新しいスカーフでそのときのトレンドを取り入れて気分を上げて楽しむのもひとつです。

さらには指輪やネックレス、ブローチなどのアクセサリーをプラスして、自分らしさを表現することもできるので、自分らしい表現の仕方や組み合わせで楽しみ方は無限大です。

スカーフやストールの魅力や楽しさを伝えていきたいな、1人でも自分らしい輝かしい人生を歩んでいただくきっかけになればいいなと思い、講師としての活動を始めました。

講座や教室では、スカーフの基本的な折り方やアレンジの仕方

を主にお伝えしています。できる限り丁寧に、お客様に寄り添うことを大切にお伝えしています。ずっと長く使っていただける知識だと感じておりますので、私も生きている限り伝え続けていきたいと思っております。

また、どうやって巻いているの？ そのスカーフ素敵ねと声をかけていただく機会も増え、コミュニケーションのきっかけのひとつにもなってくれています。

講座を通して、本当に受講してよかったとたくさんのお声をいただいております。初めてスカーフを使う方、スカーフが大好きな方、楽しいことをしたい、前向きに変わりたいという思いで受講してくださる方にもたくさんお会いすることができ、私自身も皆さんから生きる力をいただいております。私にとって毎日が新しい挑戦、新しい世界です。

そして、好きなこと、やりたいことを始めたことで生きていくことが楽しいと感じるようになりました。スカーフを通じてたくさんのお会いがあり、人の温かさを知り、人生に大きな影響を与えてくれました。以前と比べて明るくなった、毎日楽しそうだねとよく言われます。

今ではスカーフを切り口に、私の1枚の布の楽しみ方は、風呂敷やバンダナのアレンジ、ハンドメイドなど衣・食・住と暮らし全体への楽しみ方へ広がっています。

この本を読んでスカーフを取り入れた自分らしい楽しい暮らし方を見つけていただくヒントになればうれしいです。

一緒にスカーフを取り入れた暮らしの楽しみ方を探していきましょう。